

この文書について 印刷して読んでください

以下の項目についての説明です。

- A プログラムのはいったインストーラーファイルの取得と展開
- B Microsoft Access でのマクロ禁止の解除方法
セキュリティ強化の中でプログラムを動作させるための対応
- C Access 2007 以降のリボン環境での弊社専用ツールバーの表示
- D プログラムの関連付けを手動で正しくする方法
Access ランタイム(無償)を同時にインストールしたときに発生する場合があるときの対応

A インストーラーファイルの取得

自己解凍形式のファイルが Windows のセキュリティ強化にともないダウンロードできないようになっていますので ZIP 圧縮ファイル形式に順次切り替えています。

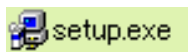
A プログラムのインストール（新タイプ）

1 Access タイプ弊社プログラムにはマイクロソフト社の Access 2002～2010 いずれかの製品版か Access 2002～2010 ランタイム版が必要です。(Access 97、2000 では使用できません。)このインストーラーでは本プログラムインストール後に続けて Access ランタイムのインストールもすることができますが、それをキャンセルすることもできます。

Access 製品版をお持ちのユーザーは必ず、ランタイムのインストールはキャンセルしてください。Access 製品版をお持ちの方がもしランタイムのインストールするとファイル作成などの機能が阻害される可能性がきわめて高いです。その場合、ランタイムをアンインストールしてから Access 製品版の再インストールをする必要があります。

ダウンロードファイルの展開とインストーラーの起動

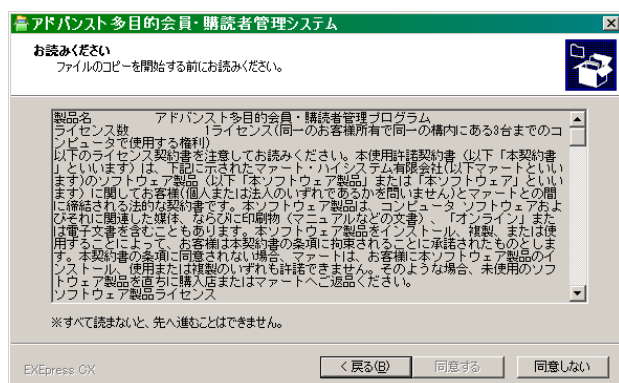
ダウンロードした ZIP 圧縮ファイルをダブルクリックすると関連ファイルのはいったフォルダーごとダウンロードしたファイルのあるフォルダーやドライブ直下に展開解凍します。(例 「アドバンスト多目的会員ランタイム ver303」といフォルダー)、そのフォルダーの中の setup.exe をダブルクリックします。



インストーラーの動作

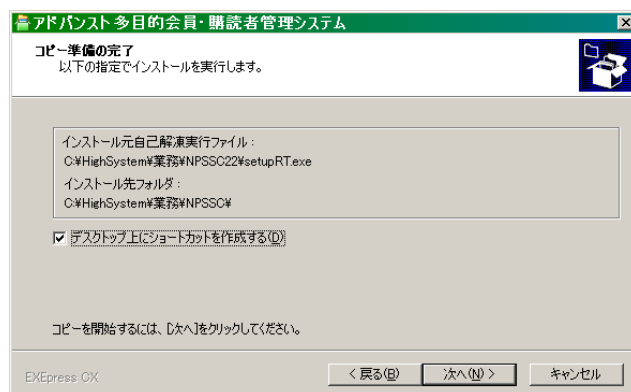
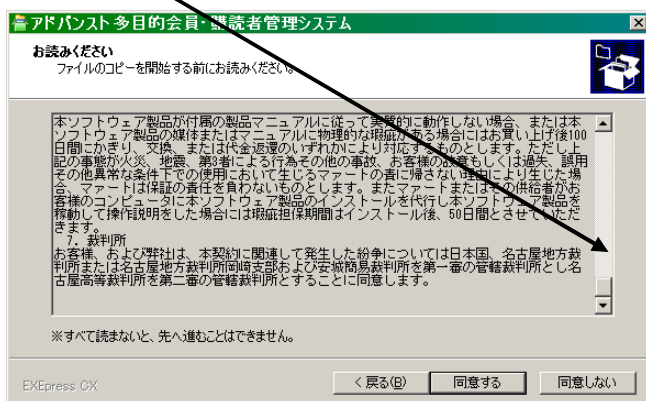


ここでは「アドバンスト多目的会員・購読者システム」を例に説明しますが、他の製品でもタイトルが異なる以外は同様の順序で操作します。「次へ」ボタンを押します。



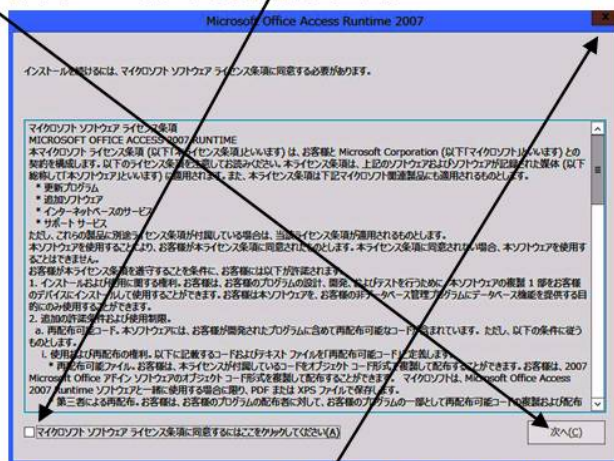
使用契約許諾書を表示します。「同意する」ボタンが使用不可状態です。

使用契約許諾書を一番下までスクロールして読まないで「同意する」ボタンが押せません。
スクロールバー



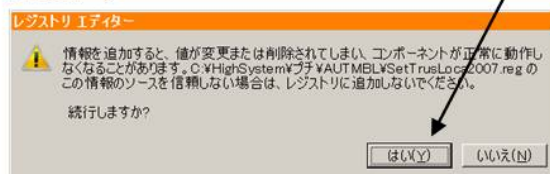
「同意する」「次へ」と押していくとプログラムファイルをインストールしていきます。インストール完了すると続いて Access ランタイムをインストールするか、以下の注意画面がでます。

この後、マイクロソフトの Access Runtime (アクセス ランタイムモジュール 無料) のインストールを開始しますが、表示画面の下部で「**同意する**」をクリックしてから「**次へ**」ボタンを押すと開始します。



重要 Microsoft Access2007 以降の製品版 (有料) をお持ちの方はインストールの必要がないので必ずウインドウを閉じてキャンセルしてください。

続いて Access 用の「信頼できる場所」という設定をレジストリーに追加します。下図のメッセージには「はい」のボタンを押してください。



その後、次のメッセージで完了です。



注 Microsoft Access は各 Office 製品の Professional 版以上に含まれるか、単独の Access 製品版です。Office Standard 版や Personal 版には含まれていません。

Access 製品版をお持ちのユーザーは以下ランタイムのインストールは必ず、キャンセルします。

Access をお持ちでないユーザーは「同意する」をクリックしてから「次へ」ボタンを押してランタイム版をインストールします。

ランタイムのファイルがインストールされていきます。

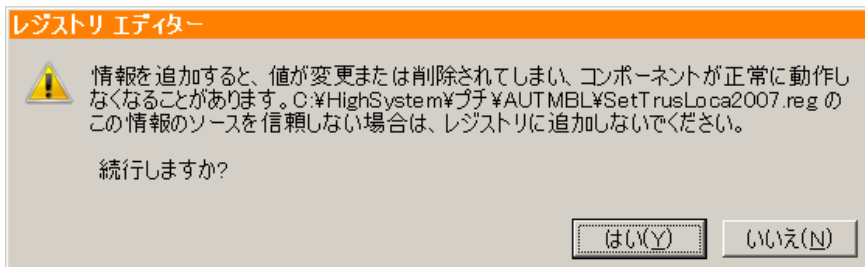
終了メッセージが出て完了です。

キャンセルの場合 ウインドウを閉じる×ボタンを押します。

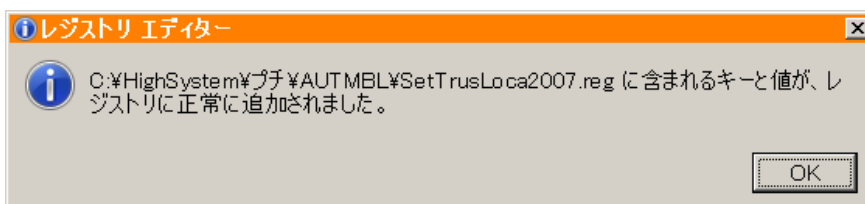
B Microsoft Access でのマクロ禁止の解除方法

Access 2007 以降では「信頼できる場所」というものが設定されていないとマクロ(ビジュアル・ベーシックを含む)が禁止されます。この状態では弊社プログラムは動作しません。それを解除する方法です。

Access 用の「信頼できる場所」という設定をレジストリーに追加します。これはインストールの途中で下図のメッセージがでますので「はい」のボタンを押してください。



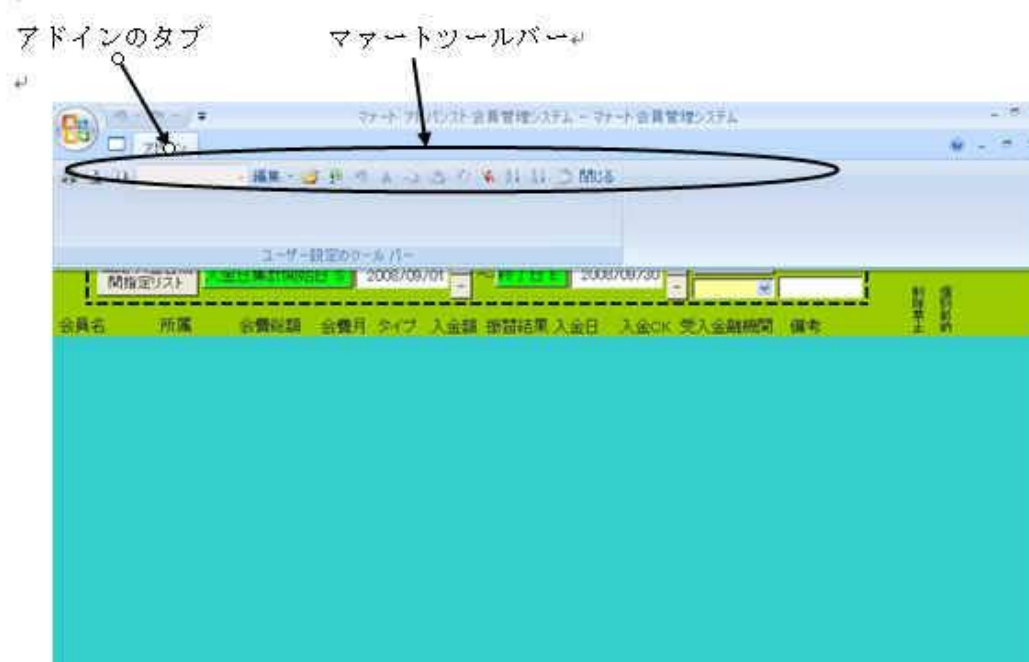
その後、次のメッセージで完了です。



インストール時にこれをしなかった場合はインストール先のフォルダーに「SetTrusLocaAll.reg」という名称のファイルがあるのでダブルクリックしてください。

C Access2007 以降のリボン環境での弊社専用ツールバーの表示

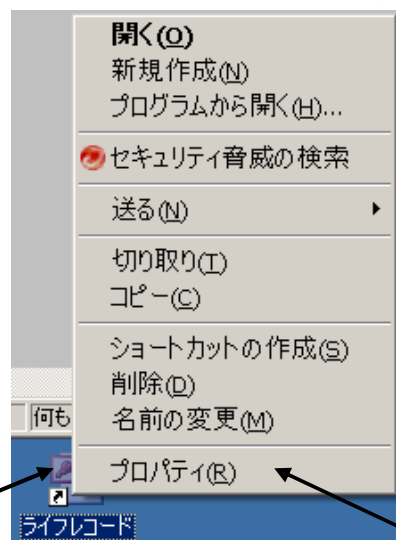
Access 2007 以降ではツールバーが廃止されてリボンというものに変更されました。マートツールバーはアドインというタブを押すと表示します。しかも画面の上にオーバーラップします。



D プログラムの関連付けを手動で正しくする方法

弊社プログラムはマイクロソフト社の Access 上で動作します。製品版の Access ではなく Access ランタイムモジュールでも動作します。その Access ランタイムモジュールは弊社プログラムのインストール途中でインストールするかしないかの選択ができます。製品版をお持ちの方は Access ランタイムモジュールのインストールはキャンセルしますが、お持ちでない方はインストールしないと弊社プログラムは動作しません。ただ Access ランタイムモジュールをインストールしても弊社プログラムが起動しないことがあります。それは Access との「関連付け」が正常に作動していない場合があるからです。その場合の対処方法を説明します。

1 パソコンのデスクトップに作成された弊社プログラムのショートカットがあります。名称はそれぞれのプログラムの名称または略称になっています。それをマウスの右ボタンでクリックします。メニューがでますので「プロパティ」の項目を選択します。

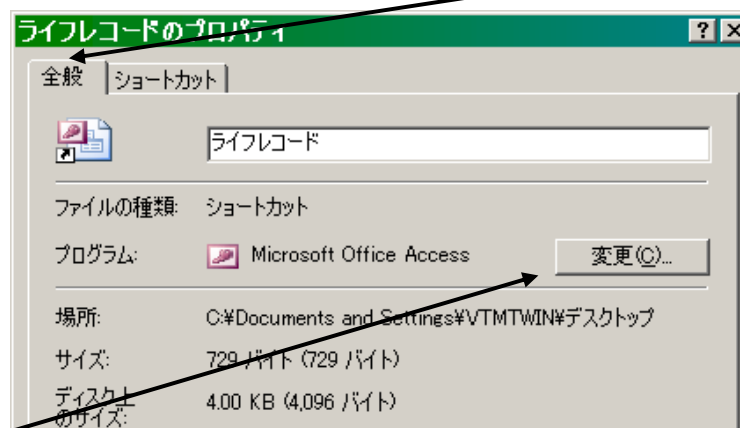


ショートカット

右ボタンのクリックでメニュー表示

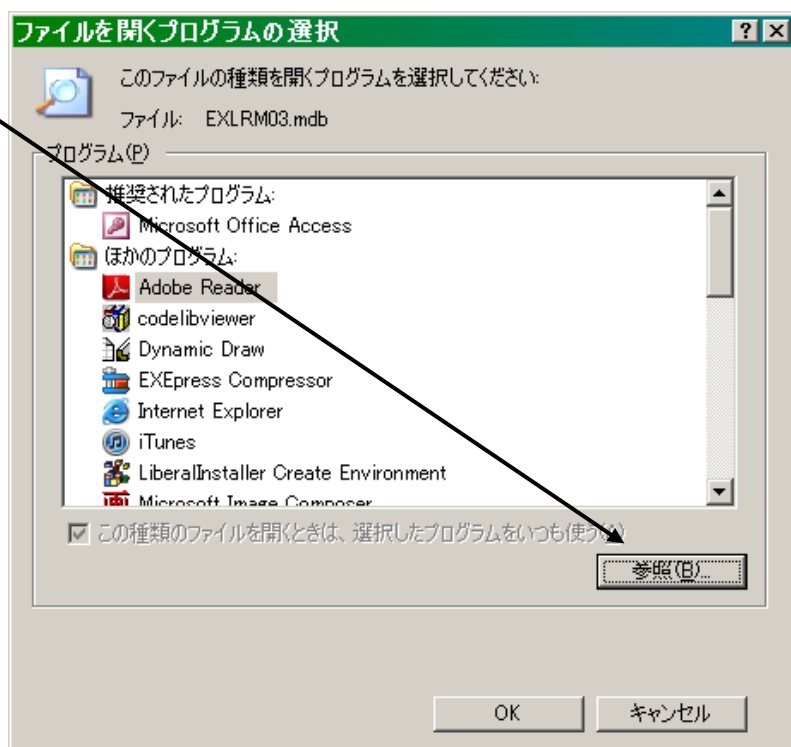
2 プロパティウインドウで「全般」タブをクリックします。

プロパティウインドウが開いたときは「ショートカット」タブになっているので「全般」をクリックして変更します。

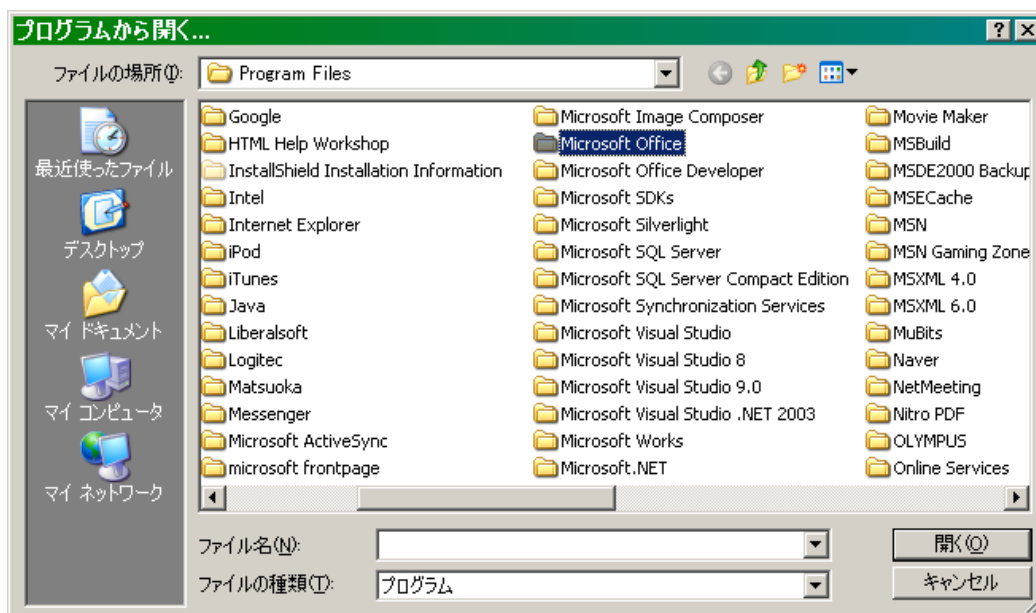


3 プログラムの「変更」ボタンを押します。

4 「プログラムを開くプログラムの選択」 ウィンドウが表示されます。
参照ボタンを押します。



「Program Files」フォルダーが表示されます。



その中の「Microsoft Office」をダブルクリックします。
さらに「Office12」をダブルクリックします。

「Office12」フォルダーの中の「MSACCESS.EXE」をダブルクリックするか「開く」ボタンをクリックすれば完了します。

